

れいわ ねんど しらかわ も じがく かん じ きょうしつ
令和3年度「白川文字学こども漢字教室」

だい し ぜん なか かん じ たんけん イン みかた
大自然の中でワクワク漢字探検 in 三方

令和3年7月18日(日)

りつめいかんだいがくしらかわしずか き ねんとうよう も じ ぶん か けんきゅうしょ
立命館大学白川 静 記念東洋文字文化研究所

久保裕之 くぼひろゆき

久保裕之 くぼひろゆき

福

「示(示)」+「畐」で、できている。「示」は、(神さまへおいのり)するときに、お供え物を置く台の形。「畐」は、酒を入れた腹のふくれた(壺)の形。

神さまへお供え物をして、(しあわせ)を願うこと。

こう こつ ぶん
甲骨文

きん ぶん
金文

てん ぶん
篆文

れい しょ
隸書

かい しょ
楷書

福 福 福 福

「示」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①まないたの上にお供え物をのせて、ご先祖さまをおがんだことからできた漢字。「祖」

②神さまのいらっしゃる場所のまわりにたくさん木を植えて、勝手にそこに入ったり、鳥や動物をとったりしてはいけないと示したこと。「禁」

「畐」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①(つぼ)を刀で二つに切って、予備(サブ)として置いたもの。「副」

②家の中に(おそなえ物を入れたつぼ)がたくさんある様子。「富」

井

(井戸)を上から見た形。木のわくの形。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

井 井 井 井 井

やものつく いどもけい
焼き物で作った井戸の模型

とうだい
唐代(1000年ころ)

ちゅうごく らくようはくぶつかん
中国・洛陽博物館

「井」の字のひみつ

「井」の部首は(二)

同じ部首の漢字には「(二)・五・互・亜」がある。

「井」の字は、中国ではほとんど使わない。日本では(どんぶり)のこと。
なぜだろう。

※井戸の中に物を落とすと「ドンブリ」と音がするからという考え方がある。



釉陶井
唐代
2009年洛阳工业陶瓷有限公司
洛阳博物馆藏
Glazed pottery well
Tang Dynasty
Excavated from Luoyang Industrial Park in 2009
Collection of Luoyang Museum

山

「山」は、^{つら}(連なった)^{かたち}山の形。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書



「山」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①山の上に石が積み重なっているもの。もとの字の形は「岳」。「岩」

②山の中のがけの下で火を起こして焼くもの。「炭」


火

火の形からできた。甲骨文の「山」とのちがいは(下の線がまっすぐ)。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書



「火」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①いねについた虫を火で焼く季節。甲骨文は「」。「秋」

②もともとは、^{かみ}神さまへのいけにえの^{いぬ}犬を焼いたこと。「然」

赤

「大」+「火」で、できている。「大」は人が(手を広げた)形。火の上をわ
たって(体からだを清きよめている)いる様子ようす。「あかい」意味いみと「赤裸々せきらら」「赤貧せきひん」と
いうように(そのまま、むきだし、なにもない)という意味いみがある。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠩺 𠩺 𠩺 赤 赤

土

「土」は、土をかためて神さまとしておがむようにしたものの形。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠩺 𠩺 土 土 土



どこう つるがしけひじんぐう
土公(敦賀市氣比神宮)

「土」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

- ① 神さまへのお供え物そな ものを置く台お だいの形「𠩺→示→ネ」をつけたもの。「社」
- ② ちりどりの形「𠩺」(四角いしかくという意味)をつけたもの。土台どだいの意味。「基」
- ② むずかしい 土公の前で人が二人どうさいる形。ある動作どうさを表す。「坐すわる」

木・林

「木」は、木の(枝)^{えだ}と(幹)^{みき}と(根)^ねの形。なぜ葉がないのだろうか。

※葉は冬にはなくなる。一年中変わらないところが「本当の木」と考えた。

甲骨文

金文

篆文

隸書

楷書

「木・林・森」のルール

「林」は、「木が二本^{にほん}あるところ」ではない。同じものを二つ^{おな}重ねると、「とても多い^{かさ}」ということ、三つ重ねると「数えきれないくらい多い^{かぞ}」ということを表す。

同じものが二つある漢字と、三つある漢字を見つけてみよう。

同じものが二つある漢字 ※ほかにもあります

出・二・竹・林・羽・回・弱・多・競・比・炎・(唱・宮・談・幽・滋・嚇・拙・棚・串)

同じものが三つある漢字 ※ほかにもあります

三・森・品・晶 (川・訓・馬・災・協・脅・形・彩・彫・杉・鬱・須・拶)

川・水・湖

「川」と「水」は、水が(なが^{なが}流れる)様子^{ようす}からできた。「川」の^{なが}流れの^{はや}速さは岸^{きし}辺^べの^{ちか}近くが真^まん中^{なか}よりも(はや^{はや}速い)。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

川 川

水 水


「湖」は、水を表す(さんずい)と、「コ」という読み方^{よみかた}を表す「胡」。これはペリカンのあごのように(ふくらんだところ)を意味する。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書


湖 湖



「川・水」とつながる漢字・・・ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①川の中にある小島^{こじま}。甲骨文は「」。 「州」

②水が冷^ひえてかたまったもの。金文は「」。 「氷」中国では「冰」と書く

③大水と大火事。人々を不幸にするできごと。 「災」。「」は川のこと。

家

「宀」と「豕」とで、できている。「宀」は屋根のある建物の形。「豕」は、(犬やぶた)の形。家を建てる時に地面の神さまへのいけにえとして獣をうめて、家を建てたから。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠩺 𠩺 家 家 家

「家の内へ入ります」

「内」は、もとは「内」で「冂」+「入」。建物の屋根や(入り口)の形と考
えられている。「入」の甲骨文は「𠂇」で「人」の甲骨文は「𠂇」。

「家」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

- ① 矢がつきささったところにご先祖さまをお祭りする建物を作った。「屋」
- ② たくさんの部屋がある建物。「宮」
- ③ むずかしそうで、やさしい「つながり」で、いろいろな漢字がたくさん増えていく様子が、子どもが増えていく様子になにしていると考えたことからできた字。「字」

車

たたか つか ば しゃ しゃりん かんたん
戦いに使った(馬車)の形。二つあった車輪が一つに簡単になった。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𨋖 𨋗 車 車 車



ば しゃ ひだり ふくげん みぎ いんきよはくぶついでん
ほり出された馬車(左)と復元された馬車(右) 中国・殷墟博物院

「車」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

- ①車を入れる建物。「庫」
- ②旗を立てた戦車の形からできた字。「軍」、金文は「𨋗」。
- ③旗を立てた戦車が、あちこち動きまわることからできた字。「運」
- ④大人向け 車がたくさん通るときに出るととても大きな音。「轟」

舟

上から見た^み(ふね)の形。「船」は「舟+沿」で、沿岸部^{えんがんぶ}(岸^{きし}に近い^{ちか}ところ)

を進む^{すす}ものと考えられる。「艇」はボート、「艦」は戦争^{せんそう}に使うもの。

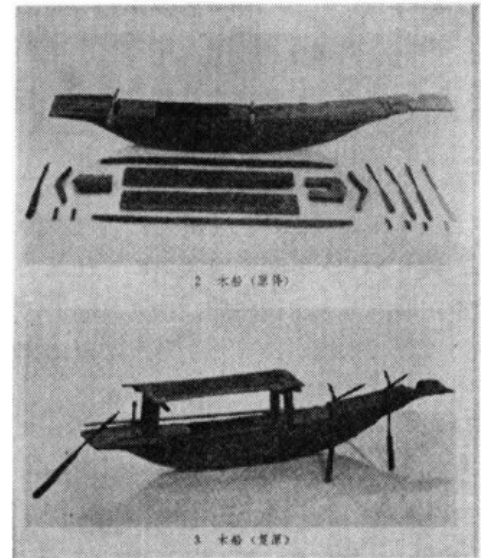
甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠂔 𠂕 舟 舟

およそ2000年前の船の模型(上)と、

それを組み立てたもの(下)

中国・湖北省江陵鳳凰山前漢墓



こんなところに「舟」がかかれていた!!

① むずかしい 舟の形^{かたち}に^{うつわ}にた器。「盤」

『文物』1974年第6期

② 二人が器^てを^も手に持ってわたす様子。もらう方。甲骨文は「𠂔」。「受」

② 二人が器^てを^も手に持ってわたす様子。あげる方。「授」